

1. 8月全国行事

- | | |
|--------------|------------|
| 1)夏の省エネ総点検の日 | 8月1日 |
| 2)電気使用安全月間 | 8月1日～8月31日 |
| 3)防災週間 | 8月30日～9月5日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : 今年の夏も熱中症の予防と対策

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 他社の事故・災害事例から : 台車のハンドルで胸部を強打・骨折

5. 今月のヒヤリハット

2. 安全・衛生・防災の心得 : 今年の夏も熱中症の予防と対策

今年の夏も例年どおりの暑い夏が予想され、職場でも重篤な熱中症のリスクが高くなります。

熱中症で問題なのは、本人や回りの者が、熱中症に対する予防対策や応急処置に対する関心や知識の欠如です。

熱中症の正しい知識で、適切な応急処置や予防・防止対策を実施する必要があります。

◎自分で分かる症状

気分が悪くなる(頭痛、吐き気、めまい、動悸)、体がだるい、手足がつる・・・など。

◎周囲が分かる症状

フラフラしている、顔色が悪い、動きが鈍い、言動がおかしい・・・など。

◎熱中症の予防、防止の5カ条

①体調が悪いときは無理しない

カゼ、二日酔い、睡眠不足、下痢などの体調不良の時。

②しっかりとろう水と塩

スポーツドリンクや冷たいお茶と塩分。のどが渴いてからだけでなく作業前にも。

③作業の合間に頻繁に休憩を

暑い環境下での連続作業は危険。涼しい所で体温をしっかり下げる。

④普段から健康管理に注意を

睡眠(休養)食事はしっかりと。特に糖尿病や高血圧などの症状のある人は要注意。

⑤「熱中症？」と思ったら直ちに報告・連絡・処置を

素人判断は危険です。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

九州第一工場

①一仕事一片付けの実践。



平塚第一工場

②作業者とフォークリフトの通路の重なる位置にパトライトを設置していた。



4. 他社の事故・災害事例から : 台車のハンドルで胸部を強打・骨折

<災害のあらまし>

工場内の通路で朝、機械部品のコンテナ(20kg×6個)を台車に積んであわてて通路を運搬中、台車の前輪が通路の穴に落ちて急に台車が止まって傾き、台車のハンドルで胸を強打して肋骨を骨折し、休業15日間の怪我を負いました。

<災害の主な原因>

- ①通路の穴は、通路の補修工事の跡を、工事業者が仮に埋め戻したもので、後日舗装する予定だったこと。
- ②埋め戻した箇所に表示や補強の蓋などが設置されていなかったこと。
- ③被災者は出勤を遅れてきたため、台車に荷を基準より多く(基準は80kg)積んで、急いで台車を押していたため、通路の異状に気がつかなかったこと、など。

<同種災害の防止対策 例>

- ①通路の不安定な工事箇所は表示や通行禁止の措置を行い、表示や通行禁止措置を行ってもなお、鉄板などの”仮ふた”を設置する。
- ②台車を使用する際は、積載方法や積載重量等の基準を守り、前方を確認しながら、ゆっくり慎重に運転する。
- ③職場内での工事は、工事前後に安全対策について打ち合わせ、確認をしっかりと行う。
- ④出勤時刻は余裕を持ち、始業時は落ち着いて作業にかかれるよう習慣化する、など。

5. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「熱中症 予防の水は 間隔おいて 少しずつ」

事例	フォークリフトで柱をこすった。
どこで	工場内で。
あらまし	フォークリフト運転中湿気が多い日で床が濡れていたため、フォークリフトのタイヤが滑り、柱をこすった。
原因	湿気が多く、床が濡れていたため。
教訓・対策	フォークリフトの運転は、床が濡れている時は、特にゆっくり慎重に運転する。

6. その他

クールビズ期間中の節電について

今年も蒸し暑い季節になってまいりました。電力消費量が増加する夏季にむけて、空調機器の抑制的な稼働など節電対策に協力願います。

「無限じゃないぞこの資源 一人一人がエコ活動」 H27年環境保全最優秀作品